

## 令和5年度 第2回白馬村図書館協議会 議事要旨

日時：令和6年3月14日（木）15:45～17:00

場所：白馬村役場 3階 302会議室

区分	氏名	所属	出欠
委員	富山 正明	白馬村社会教育委員長	○
	太田 洋一	白馬村公民館長	○
	本多 希	白馬高等学校	○
	篠崎 千恵	白馬南小学校	—
	高橋 英子	公募委員	○
	澤 清美	公募委員	—
	木曾 寿紀	公募委員	—
	嶋田 多希	公募委員	—
アドバイザー	篠田 尚利	県立長野図書館	○
事務局	松澤 宏和	生涯学習スポーツ課長兼図書館長	○
	松沢 由美子	白馬村図書館司書	—
	大坪 裕子	白馬村図書館司書	○
	大熊 大智	白馬村図書館司書	—
	山岸 由美	白馬中学校図書館司書	○
	海端 弥生	白馬北小学校図書館司書	—
	渡邊 宏太	生涯学習スポーツ課生涯学習係長	—

### 1. 開会

松澤生涯学習スポーツ課長兼図書館長が開会を宣言した。

### 2. あいさつ

（富山委員長）

海外からのお客様も少なくなり街が静かになった感があるが、3月になってから雪が多く、畑仕事の不安も出てきた。

新型コロナウイルス5類移行後の運営状況等を把握しながら、各種議題について協議していきたい。

(横川教育長)

3月議会の会期中であるため冒頭のみで失礼する。

図書館等複合施設については、事業費の縮減を図った結果、官民連携手法による施設整備・運営が難しい状況となり、今後の方針について教育委員会事務局の3課で方向性を検討した。

村長・副村長や総務課と財政的な面で協議を行った結果、子育て支援施設の老朽化対策を優先し、図書館については整備を先送りすることとなった。現時点で整備時期は明言できないが、来年度以降に子育て支援施設の設計をしていく中で、図書館についても連携していく案も持っている。決して整備を断念するというわけではないため、引き続き考えていきたい。

学校の授業ではタブレットを使用しているが、文字を読んだり書いたりすることで頭に入っていく。図書館等での読書はその基本的な部分であり、大切なものだと考えている。今後も皆さんからご支援いただきたい。

### 3. 会議事項

#### (1) 図書館の運営状況について

(事務局)

資料1により説明した。

ワーキングホリデーによるシーズンバイトの外国人の利用が増加傾向にあり、貸出数も1.5倍になっている。

インターネット予約ができるようになり、リクエスト件数も伸びている。

蔵書点検では3名にボランティアとして協力いただいた。

関係機関等と連携したイベント・展示として、氷河調査報告会、あそびまなびフェス、青少年育成村民大会、多文化共生講座等に本を持ち出して展示を行った。

(委員)

ボランティアとして参加するメリットはあるのか。何がモチベーションになるか。

(事務局)

これといったメリットはないが、改めて図書館の蔵書を広く見てもらう機会にはなる。

(委員)

資料の表について、年度の並びを右からまたは左からのどちらかに統一してほしい。

(委員長)

ボランティアの活動は、蔵書点検のときだけか。

(事務局)

現状はそうであるが、本の装備（コート）なども行ってもらえるとありがたい。

(委員長)

教える負担もあると思うが、ボランティアに業務を習得してもらい、経常的に協力してもらえると良いのではないか。そういったボランティアを増やしていきたい。

(委員)

広報はくば等でも募集したらどうか。

(事務局)

蔵書点検をお手伝いいただいたボランティアからは、防災行政無線で告知したらどうかと提案を受けた。

イベントや装飾などいくらでもやることはあるため、年間のボランティアを募集しても良いと思う。場合によっては学校でも活動してもらうことも検討したい。

(委員)

ボランティアの年齢制限はあるのか。高校生の職場体験なども検討してほしい。

(事務局)

ボランティアは中学生以上としているが、実際に来ているのは全員大人である。中学校の職場体験は受け入れている。

(委員長)

外国人の利用者について、どういったニーズがあると感じているか。

(事務局)

絵本のローマ字表記の本を借りるなど、日本語を勉強したい方が多いように感じる。寄贈を受けた日本語学習の本などもあるため、利用してもらえよう心がけたい。

## (2) 図書館等複合施設について

(事務局)

冒頭で教育長からも説明があったが、これまで構想や計画を策定して検討を進めてきたが、財政的な状況から子育て支援施設を先行して整備することとなった。教育委員会事務

局では、これまでの検討のとおり複合施設として整備したかったが、他の事業や災害など有事への備えなども考慮してそうした判断に至った。

子育て支援施設は、現在の支援ルームの西側に用地を取得して整備する予定で、図書館はそこに隣接する形を想定しているが、今後の検討によっては学校の施設整備に併せて融合させていく可能性もあり得る。

議会からはこれまでの検討を無駄にせず、夢や希望をつなぐような対応が必要という意見も出ている。今後、住民への説明をする機会を設けたい。

(委員)

長年の願いであるため、できるだけ早く整備してほしい。

(委員長)

これまで長い時間をかけて丁寧に議論してきたにもかかわらず、財政的な理由で切られてしまったのは非常に残念である。先に繋がる形で継続して検討してほしい。

学校図書館と一緒にするというのはこれまでにない話であるため、具体例なども含めて丁寧な説明が必要と思われる。

(アドバイザー)

条例上の図書館で学校と融合されているものは県内にはないと思うが、公民館図書室であれば飯綱町が学校と融合している。

(委員)

図書館と公民館図書室は何が違うのか。

(アドバイザー)

条例に規定されているか否かで、県内には条例に規定されていない図書館が22施設ある。

(委員長)

当面、今の図書館を使い続けることになると思うので、ボランティアの活用などは積極的に取り組んでほしい。

### (3) 図書館管理規則の一部改正について

資料2により事務局から説明した。

(アドバイザー)

次に改正する機会があれば、性別欄は削除してほしい。

(事務局)

システム上入力が必要となっているため今回は残したが、今後削除する方向で進めたい。

(委員長)

喫煙禁止を削除しているが、公共施設は他の条例等で禁煙ということになっているか。

(事務局)

健康増進法により公共施設の地内の禁煙が規定されている。

#### (4) 雑誌スポンサー制度について

資料3及び資料4により事務局より説明した。

(委員長)

これから募集して購入はいつからになるか。

(事務局)

審査を経て、購入可能なものからスポンサー雑誌として受け入れていく。タイミングにもよるが、審査の翌月くらいからになると思われる。

(委員)

募集はどういった媒体で知らせていくのか。

(事務局)

広報はくば、行政ホームページ、行政 Facebook、防災行政無線等で行う。村の封筒等でも広告がないときの空き枠を活用して宣伝（募集）することも可能かもしれない。

(委員)

村外へのアプローチについても何かできると良い。

(アドバイザー)

最初はホームページを見てもらう形でもよいが、商工会など団体・組織を活用して周知しているところもある。町村で実施するのは画期的であるため、良い事例となってほしい。

(委員長)

地域貢献やイメージアップの側面を訴えるのも良いと思う。雑誌は多く手に取られるため、実績ができるよう頑張ってもらいたい。

#### 4. その他

図書館協議会の任期が3月末で終了となる。2年間の協力に感謝申し上げるとともに、改めて公募するため、希望する場合は応募してほしい。

#### 5. 閉会

松澤生涯学習スポーツ課長兼図書館長が閉会を宣言した。